

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「税金がつくる居場所」

国立市立国立第二中学校 3年 佐藤 巴

私は、学校で税に関する話をきいて税にはたくさん種類があり、たくさんの使われ方をしていることを知りました。そして、自分が住む市で税金はどのように使われているかに興味を持ちました。

市のホームページを見ると、令和4年度の歳出予算では、民生費が53パーセント、土木費が11パーセント、教育費が10パーセント、他に総務費、衛生費、公債費、消防費、その他になっていました。予算の半分を占める民生費の内容には、複合公共施設整備費用もありました。この施設は、私の家のすぐ近くにある施設です。数年前に計画され、今年の4月にオープンしました。建物の中は木材が多く使われていて芝生の生えた庭もついています。そして、この施設の大きな特徴は「複合」公共施設というところです。子育ての支援や多世代の交流が目的とされ、施設内には児童館、子育てひろば、勉強などができるスペース、さらに多目的ルームもあります。そのため、毎日多くの人を訪れ、利用しています。庭では夕方、多くの子どもたちが遊んでいます。夜は、高校生や大人が建物の中で勉強や仕事、集まって話していることもあります。休日は平日よりたくさん人が来て、建物の中も庭もにぎわい、イベントが開かれるときもあります。遊びに来る子どもだけでなく、若い人からお年寄りまでたくさんの方が利用しています。この施設のホームページには、「まちなかみんなの居場所」と、あります。何かをするために行かなくても、気軽に立ち寄れる場所、ということかなと私は思いました。例えば、私の弟もよく遊びに行きますが、友達と遊んでくる日もあれば友達がいなかったため、まんがを読む日もあるそうです。友達と遊ばなくても、イベントに参加しなくても、自分が好きなように過ごせるのはとてもよいことだと思いました。一人でも過ごせる場所でありながら、人と人との交流の場にもなっていると思います。例えば、児童館では、幼児や小学校低学年向けのイベントのときに小学校高学年や中学生にイベントのお手伝いを募集しています。普段は、一緒に遊ばない違う学年の子と接することや児童館の先生を手伝うことで、人との関わり、地域との関わりにつながるのがよいと思いました。

よく考えると、私の住む地域には公園がいくつもあり、このような公共施設も作ってくれました。たくさんの税金をかけて作られますが公園やこの施設が大きくもうかることはないと思います。しかし、たくさんの人たちが利用でき、人と交流できたり、楽しい時間を過ごしたりできます。それは、暮らす人にとって、地域にとってとてもよいことです。これから、自分が納める税金もだれかのためになればうれしいと思いました。